

令和5年度 第4回沖縄県がん診療連携協議会及び幹事会

厚生労働省委託事業

令和5年度アピアランス支援モデル事業

令和5年1月15日（月）

【資料】

1. アピアランス支援モデル事業に関する都道府県説明（資料1） / p.3
2. アピアランス支援モデル事業における琉球大学病院の年間計画（資料2） / p.5
3. アピアランスケア研修会（資料3） / p.8
4. アピアランスケア沖縄県全体勉強会（資料4） / p.16
5. アピアランス支援モデル事業中間報告会（資料5） / p.27
6. アピアランスケア離島勉強会（資料6） / p.50
7. アピアランスケア患者向け教室（離島）（資料7） / p.50

アピアランスケアについて

【定義】

広義では「医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア」

※治療で外見が変化したら必ずアピアランスケアを行わなければならない、ということではない。
(国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センターHPより)

【アピアランスケアの必要性】

がん医療の進歩により治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加している。がんの治療と学業や仕事との両立を可能とし、治療後も同様の生活を維持する上で、治療に伴う外見変化に対する医療現場におけるサポートの重要性が認識されている。

治療の種類	代表的な外見の変化
化学療法	脱毛（頭髪、まつげ、まゆげ）、手足症候群、皮膚色素沈着、爪の割れやはがれ、変色など
分子標的治療	手足症候群、ざ瘡様皮疹、皮膚乾燥（乾皮症）、爪囲炎など
放射線治療	放射線皮膚炎など
手術療法	手術痕、身体の部分的な欠損、むくみなど

【各研究班の取り組み】

	期間	研究課題	研究代表
がん対策推進 総合研究事業	H29-R1	がん患者に対するアピアランスケアの均てん化と指導者教育プログラムの構築に向けた研究	野澤 桂子
	R2-	がん患者に対する質の高いアピアランスケアの実装に資する研究	藤間 勝子
AMED	H26-28	がん治療に伴う皮膚変化の評価方法と標準的ケア確立に関する研究	野澤 桂子
	H29-30	分子標準治療薬によるざ瘡様皮膚炎に対する標準的ケア方法の確立に関する研究	野澤 桂子

新規

がんとの共生に向けた相談支援の強化（アピランス支援モデル事業）

令和5年度予算案 26百万円（-）※（）内は前年度当初予算額

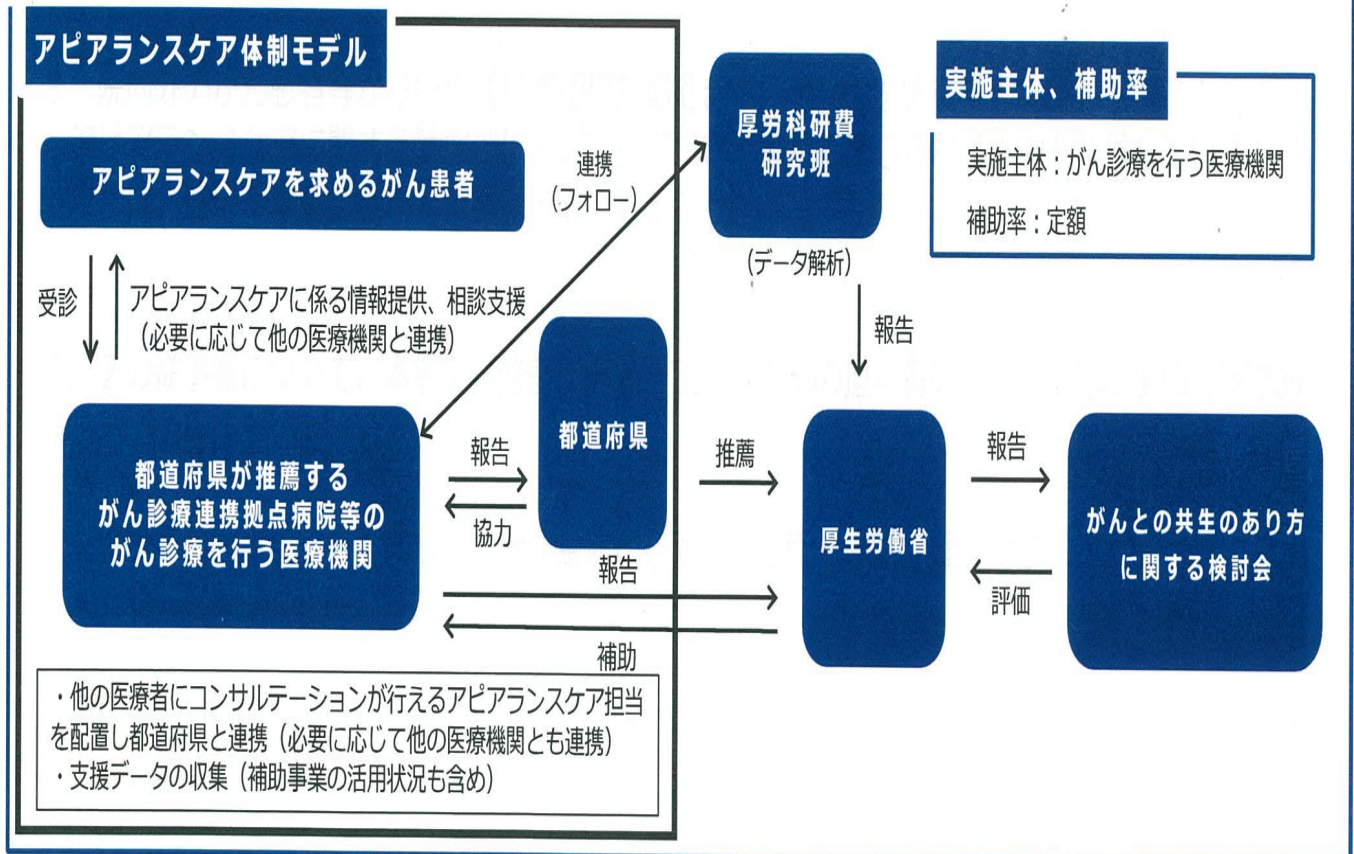
1 事業の目的

- 治療に伴う外見の変化は、社会生活に大きく影響することから、医療現場における適切なアピランスケア体制の構築が必要。
- アピランスケア体制の構築に当たっては、がん治療を行う医療機関と都道府県とが連携し社会全体で患者を支援する必要があるが、どのような体制が効果的であるかを検証した上で全国展開を図る。

2 事業の概要

- がん診療連携拠点病院等のがん診療を行う医療機関において、アピランスケアを必要とするがん患者に対し、研修を受けた医療従事者による情報提供や相談支援等を行い、効果的な支援体制について検証するモデル事業を実施する。
- 検証に当たっては厚労科研費研究班と連携し、分析を行う。

3 事業のスキーム、実施主体等



		R5年度予定
1.院内研修会	開催日程	11月14日(火) 17:30~18:30
	開催地	本島内
	形式	オンライン(オンデマンド配信)
	内容	アピアランスケア研修会
	講師	・看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師 砂川 華 ・沖縄県地域統括相談支援センターピア・サポーター(患者の立場): 上地 久美子さん
	対象者	医療従事者(琉球大学病院)
2.情報交換会	開催日程	令和6年1月12日 17:30~18:30 (第7回緩和ケアにおける地域連携カンファレンス)
	開催地	本島内
	会場	WEB開催
	内容	医療者のためのアピアランスケアに関する情報交換会
	講師	看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師 砂川 華
	対象者	医療従事者(がん診療を行う医療機関及び地域の医療機関)
3.院内患者サロン	開催日程	令和5年9月~令和6年3月(期間中13回開催予定)
	開催地	本島内
	会場	琉球大学病院(琉大ゆんたく会)
	内容	アピアランスケアに関する情報を聴取・情報提供
	派遣者	看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師 砂川 華
	対象者	がん患者及びその家族等
4.県全体勉強会	開催日程	令和5年12月17日(日) 13:00~17:00
	開催地	本島内
	会場	おきなわクリニカルシミュレーションセンター
	内容	パネルディスカッション、グループディスカッション
	講師	・目白大学教授 野澤 桂子 先生 ・NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会理事長 松本 陽子氏
	対象者	医療従事者(がん診療を行う医療機関) アピアランスケアに関心がある方・知識を深めたい方

5.宮古・八重山勉強会	開催日程	① 1月26日(金) 17:00~18:30 ② 3月1日(金) 16:00~19:00の時間帯うち1時間30分(調整中)
	開催地	① 石垣市 ② 宮古島市
	会場	① 八重山病院 ② 候補 宮古病院
	内容	アピアランスケアに関する勉強会
	講師	看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師 砂川 華
	対象者	医療従事者(八重山病院及び宮古病院) 患者団体関係者
6.アピアランスケア教室(対面) *離島は勉強会とあわせて連日開催	開催日程	① 11月11日(土) 15:30~16:00(リレーフォーライフ・ジャパン2023沖縄) ② 12月7日(木) 14:00~16:00(第8回琉大ゆんたく会) ③ 12月21日(木) 15:00~16:30(ウィッグアピアランス相談会) ④ 1月27日(土) 10:00~12:00 ⑤ 3月2日(土) 10:00~12:00または10:30~12:30 ⑥ 2月16日(金) 15:00~16:30(ウィッグアピアランス相談会)
	開催地	① 浦添市てだこ広場 ② 琉球大学病院 大学院セミナー室 ③ 琉球大学病院 ④ 石垣市/県立八重山病院 ⑤ 候補 宮古島市/県立宮古病院 ⑥ 琉球大学病院
	内容	講演、情報提供、相談会
	講師	看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師 砂川 華
	対象者	がん患者及びその家族等

7.アピアランスケア教室 (オンライン)	開催日程	① 11/21 (火) 14:30~15:30 (第8回オンラインゆんたく会) ② 2/20 (火) 14:30~15:30 (第11回オンラインゆんたく会)
	形式	オンライン (Zoom)
	内容	講演、情報提供
	講師	①看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師 砂川 華 ②看護部 9階病棟看護師 中村 翼
	対象者	がん患者及びその家族、一般県民

令和5年度 厚生労働省委託事業 アピアランスケア支援モデル事業

アピアランスケア研修会

開催報告

実施日：令和5年11月14日（火）

主催：がんセンター

【名称】

令和5年度 アピアランスケア研修会

【目的】

当院が採択を受けた令和5年度アピアランス支援モデル事業において、院内医療従事者のアピアランスケアに対する知識、意欲向上を図る。

- 1.名称 令和5年度 アピアランスケア研修会
- 2.日時 令和5年11月14日（火）17：30～18：30
- 3.対象 当院でがん診療に関わる全ての医療従事者
- 4.形式 Web開催（オンデマンド配信）
- 5.主催 琉球大学病院がんセンター

6.プログラム

<講義> 「患者が望むアピアランスケアとは」

がんピア・サポーター 上地 久美子さん

「アピアランスケアに関する新しい考え方」

がん看護専門看護師 砂川 華さん

<質疑応答>

【講師・スタッフ一覧】

名前	所属	担当
増田 昌人	沖縄県地域統括相談支援センター がんセンター長	責任者
上地 久美子	沖縄県地域統括相談支援センター 相談員	研修会講師
砂川 華	がん看護専門看護師	研修会講師
喜瀬 杏妃	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員	スタッフ
比嘉 優花	がんセンター	スタッフ
大嶺 真希	がんセンター	担当者

【タイムスケジュール】

開始	終了	時間	内 容	講師・担当者
17:30	17:35	5分	開会のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター がんセンター長 増田 昌人
17:35	17:50	20分	患者が望むアピアランスケア	がんピアサポーター 上地 久美子
17:50	18:20	5分	アピアランスに関する新しい考え方	緩和ケアセンター 看護師 砂川 華
18:20	18:30	10分	質疑応答	講師・相談員・スタッフ
18:30	18:35	5分	閉会のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター がんセンター長 増田 昌人

【参加者数】

受講者：20名

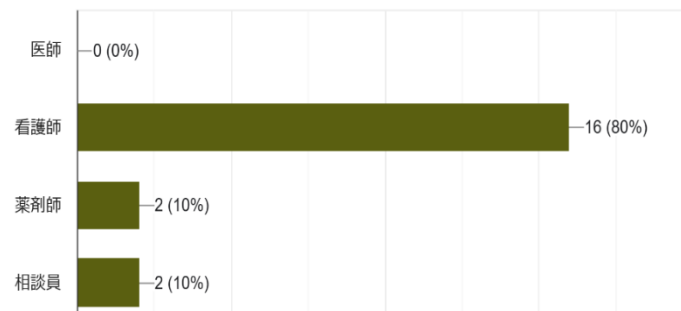
【振り返り】

- ・9月開催予定であったが、今回11/14へ延期となって開催された。
- ・医療従事者が参加しやすい時間帯17:30より開催された。
- ・電子カルテ、チラシ、ポスターでの広報によって、医療従事者20名の参加があった。内訳は、看護師16名、薬剤師2名、相談員2名。
- ・e-learning受講者50名に対して、全体の参加人数は20名であった。
- ・後日、配信されたオンデマンド配信後の、アンケート回答人数は現在20名と、当日のオンライン参加人数との変化はみられない。
- ・講師2名とも、当センターにて配信を行ったため、Zoomミーディングの設定など担当以外の2名のスタッフがフォローし、スタッフ間の連携が取りやすく、滞りなくスムーズに配信ができた。
- ・ウェビナー配信のため、チャットにて質疑応答が可能であった。(参加者からの質問はなかった)

【アンケート回答結果】

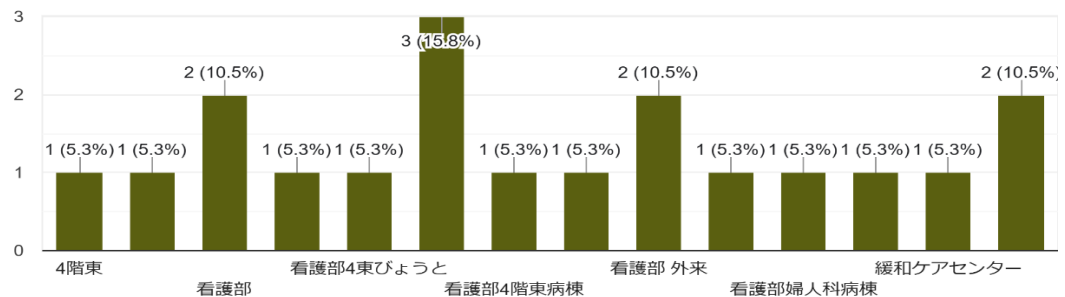
あなたのご職業を教えてください。

20件の回答



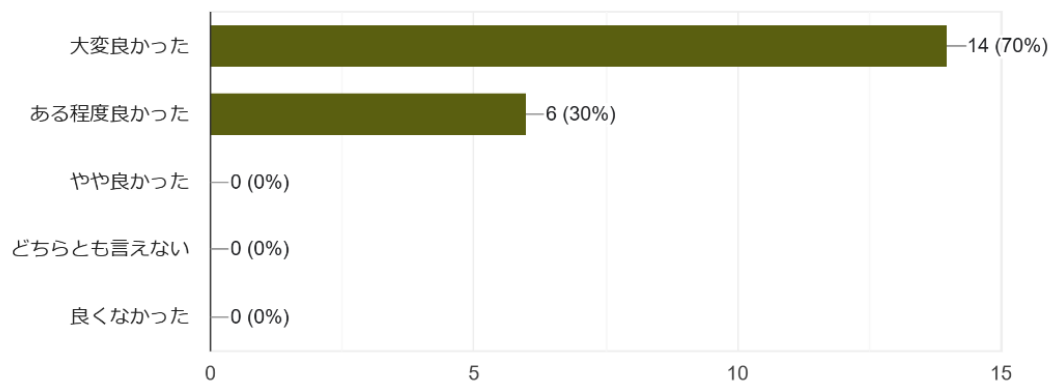
あなたの所属部署を教えてください。

19件の回答



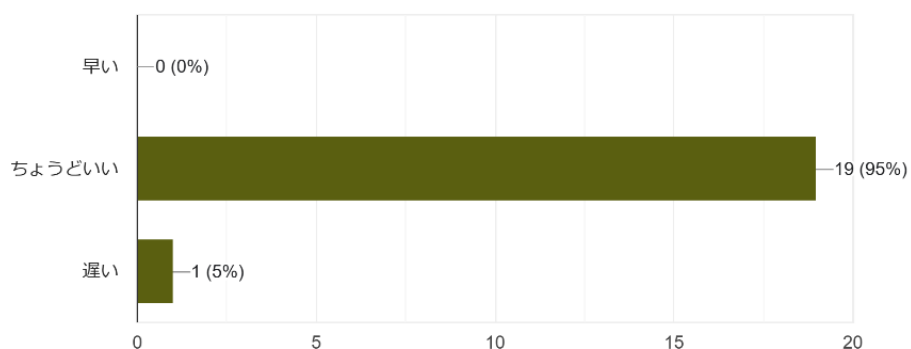
本日の研修会は良かったですか。

20件の回答



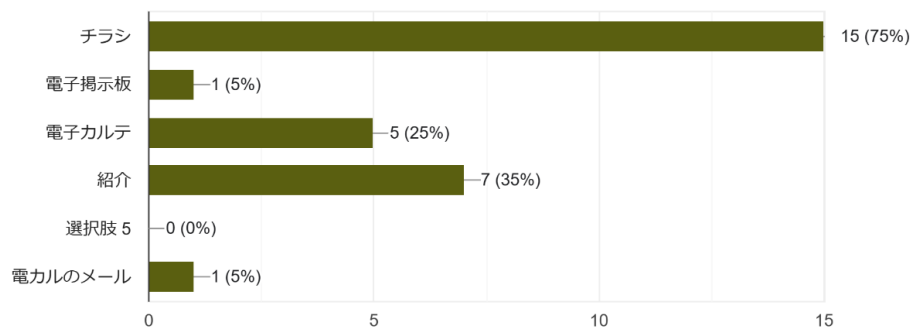
講演時間はいかがでしたか。

20件の回答



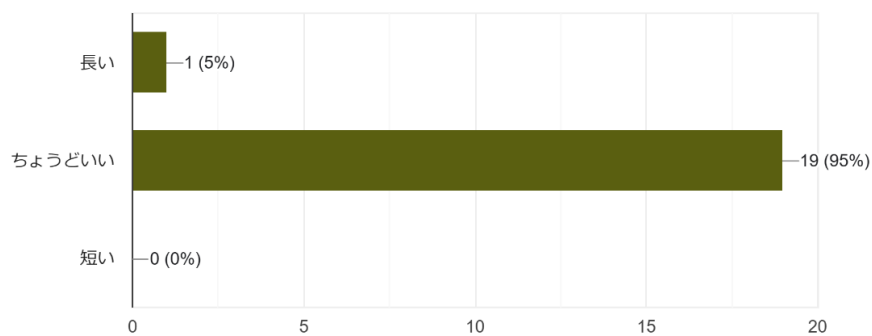
今回の研修会は、何をきっかけに知りましたか。

20件の回答



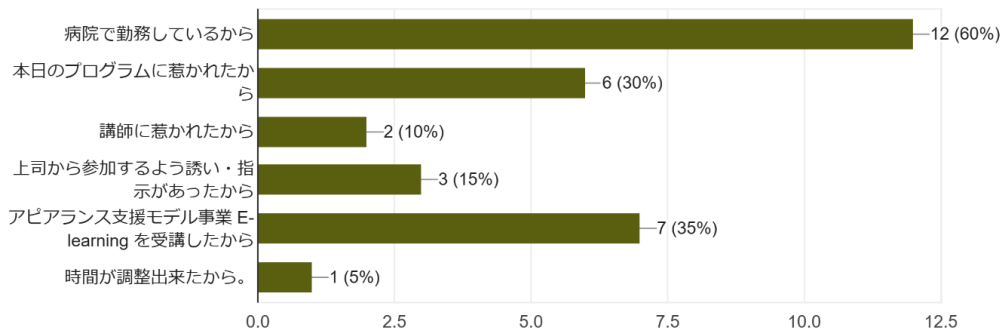
講演時間はいかがでしたか。

20件の回答



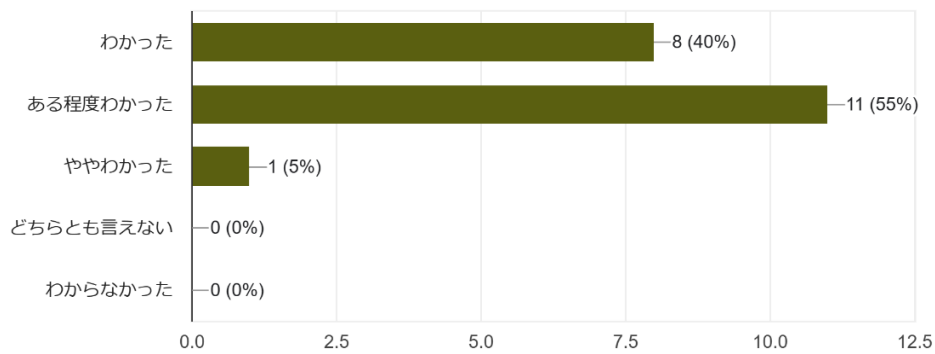
今回の研修会に参加しようと思った動機を教えてください。

20件の回答



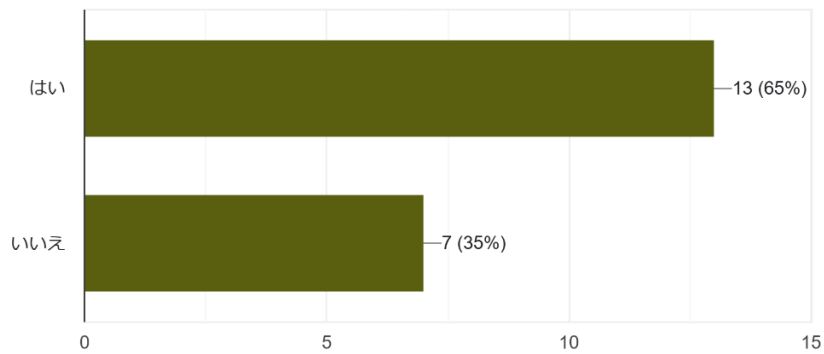
「アピアランスの新しい考え方」について理解できましたか。

20件の回答



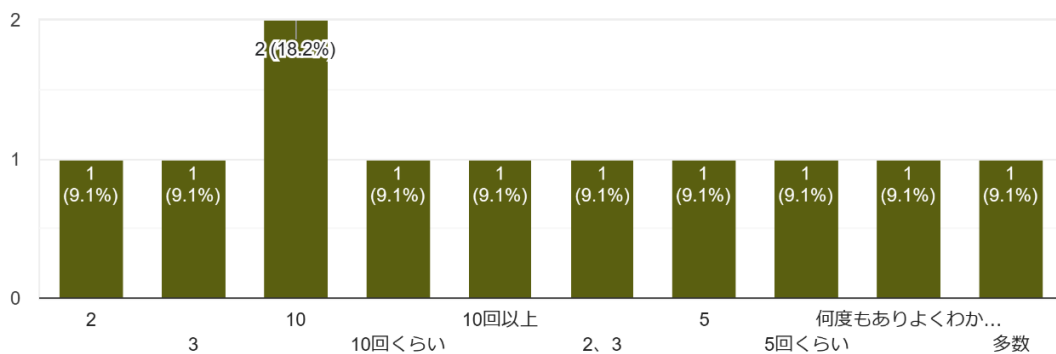
これまでに、患者（家族）からアピアランスケアに関する相談や質問を受けたことがありますか。

20件の回答



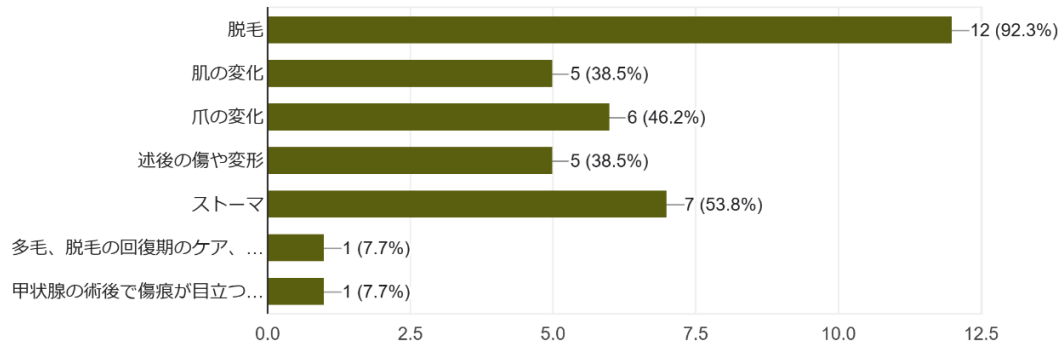
「はい」の方はおおまかな回数もあわせてお答えください。

11件の回答



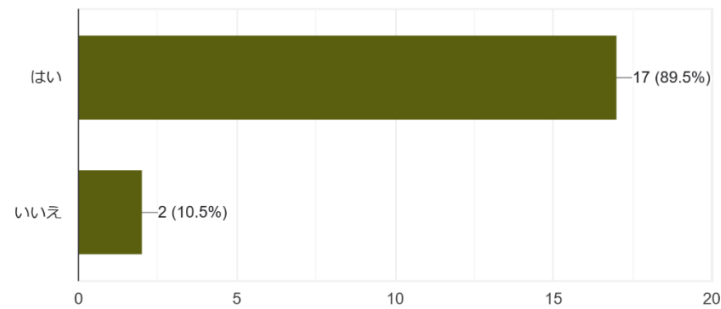
「はい」と答えた方へお聞きします。具体的には、どのような相談内容でしたか。

13件の回答



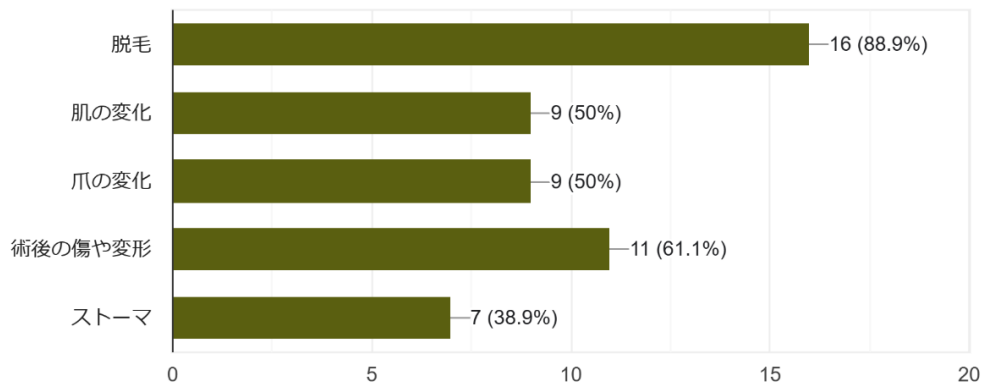
普段の業務の中で、アピアランスケアの介入が必要だと感じた場面はありましたか。

19件の回答



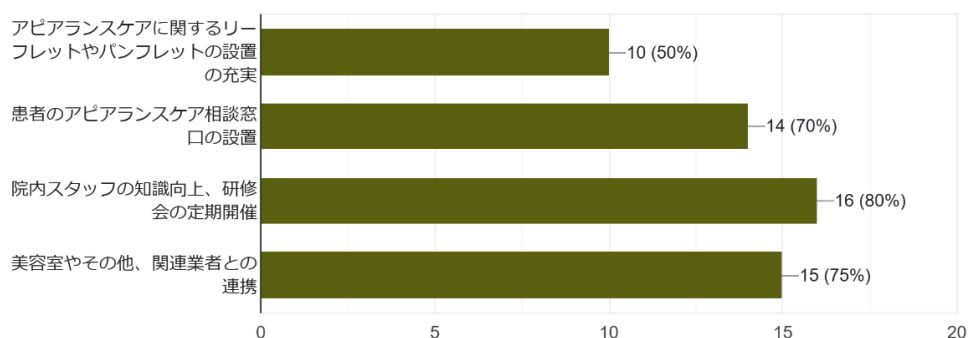
「はい」と答えた方へお聞きします。具体的には、どのような症状でしたか。

18件の回答



琉大病院内でのアピアランスケアの相談対応で、今後取り組んで欲しいことがあれば教えてください。

20件の回答



「患者が求めるアピアランス」についての感想をお聞かせ下さい。

- ・患者の思いを知れてとても勉強になった。医療者からの親しみある関わりや日常会話の大切さを学んだ。
- ・婦人科で患者は治療を続けながら、今までと同じように生活したいと考えているので、治療での変化や不安を聞き、対応方法を一緒に考えていくことが必要だと思いました。
- ・副作用で容姿が変わることなく治療ができること！
- ・普通の対応が、患者のニーズである事がわかり、気持ちが楽になった。
- ・残念会ながら、ズームへの入室が遅れて視聴することができませんでした。
- ・患者さんより副作用のこと(特に脱毛に対して)について質問することがよく聞かれるので、正しい情報を伝えて、患者さんと一緒に悩みを考え、対応できるようにしていきたいと思います。
- ・声かけで患者さんの気持ちはだいぶ変わるんだなと思ったので、今後は声かけも特に意識していきたいと思った。また、気にしてそうな患者さんには積極的に情報提供していきたいなと思った。
- ・治療をうけている、治療と向き合ってきた患者さんが感じていることを聞くことができ、よかったです。いつも、治療や副作用の話ばかりしていたなど、反省しました。
- ・患者が気にしていることを少しでも軽減できるよう、ケアできる知識や対応が求められてると感じました。
- ・患者個々のニーズに応じる必要があるため画一的な正解がなく、言うは易いが実行するのは難しいと感じています。
- ・患者の思いに寄り添って支援する
- ・患者さんの言葉の裏にある思いを確認する事
- ・治療にともなう様々な変化にたいして適切な情報提供をしたり、患者さんの生活背景をみすえた介入が必要だとわかった。

本日の研修会に関するご感想や、ご要望など何かあれば自由に記入して下さい。

- ・また、聴講したいです。
- ・大変勉強になりました。今後も勉強会の開催よろしくお願い致します。
- ・外見のみならず、がんの治療や副作用に対して前向きに、患者さんなりに考えていくことの必要性を学ぶことができました。

令和5年度 厚生労働省委託事業 アピアランスケア支援モデル事業

アピアランスケア沖縄県全体勉強会

開催報告

実施日：令和5年12月17日（日）

主催：がんセンター

【名称】

令和5年度 アピアランスケア沖縄県全体勉強会

【目的】

当院が採択を受けた令和5年度アピアランス支援モデル事業において、沖縄県内のがん診療に関わる医療従事者のアピアランスケアに対する知識、意欲向上を図る。

- 1.名称 令和5年度 アピアランスケア研修会
 - 2.日時 令和5年11月14日（火）17：30～18：30
 - 3.対象 がん診療に関わる全ての医療従事者、アピアランスケアに関心がある方・知識を深めたい方
 - 4.場所 おきなわクリニカルシュミレーションセンター
 - 5.主催 琉球大学病院がんセンター
 - 6.プログラム
- <講義> 「臨床で活かすがん患者へのアピアランスケア」
目白大学 看護学部看護学科 教授
前国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター長
野澤桂子先生

「患者が求めるアピアランスケアとは何か？」
NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長
全国がん患者団体連合会 副理事長
松本陽子 氏

<グループワーク>

【講師・スタッフ一覧】

名前	所属	担当
増田 昌人	沖縄県地域統括相談支援センター がんセンター長	責任者
砂川 華	がん看護専門看護師	ファシリテーター
中村 翼	緩和ケア認定看護師	司会進行
喜瀬 杏妃	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員	スタッフ
比嘉 優花	がんセンター	スタッフ
大嶺 真希	がんセンター	担当者

【タイムスケジュール】

開始	終了	時間	内 容	講師・担当者
13:00	13:05	5分	オリエンテーション	中村翼
13:05	13:10	5分	開会のあいさつ	がんセンター長 増田 昌人
13:10	13:15	5分	講師およびスタッフ紹介	講師・スタッフ
13:15	14:45	90分	臨床で活かすがん患者へのアピアランスケア	野澤桂子先生
14:45	14:55	10分	休憩/アンケート記入	
14:55	15:25	30分	患者が求めるアピアランスケアとは何か？	松本陽子氏
15:25	15:35	10分	休憩/アンケート記入	

15:35～			グループワーク	
			各グループ6～8名 4～6グループ	
15:35	15:40	5分	グループワークの流れについて説明	進行：砂川華
15:40	15:50	10分	アイスブレイク	各グループ
15:50～			グループディスカッション	
15:50	16:10	20分	症例1) 女性、脱毛に関する悩み 症例2) 男性、皮膚障害に関する悩み	
16:10	16:30	20分	各グループ発表	各グループ
16:30	17:05	20分	全体振り返り講評	講師
16:50	16:55	5分	閉会のあいさつ	がんセンター長 増田
16:55	17:00	5分	アンケート記入	参加者各自
17:00			閉会	

【参加者数】

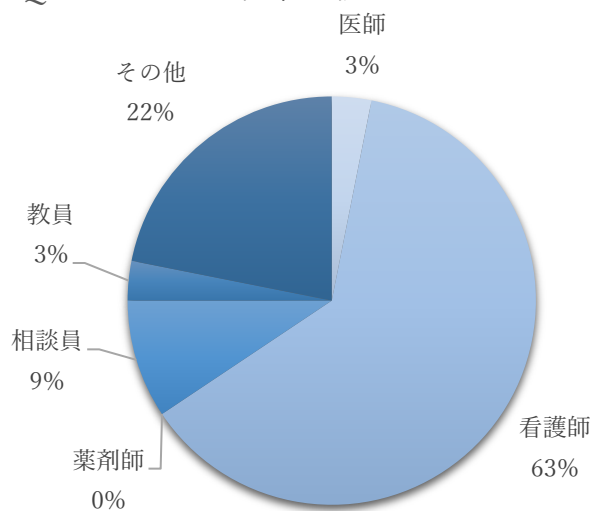
受講者：37名

【振り返り】

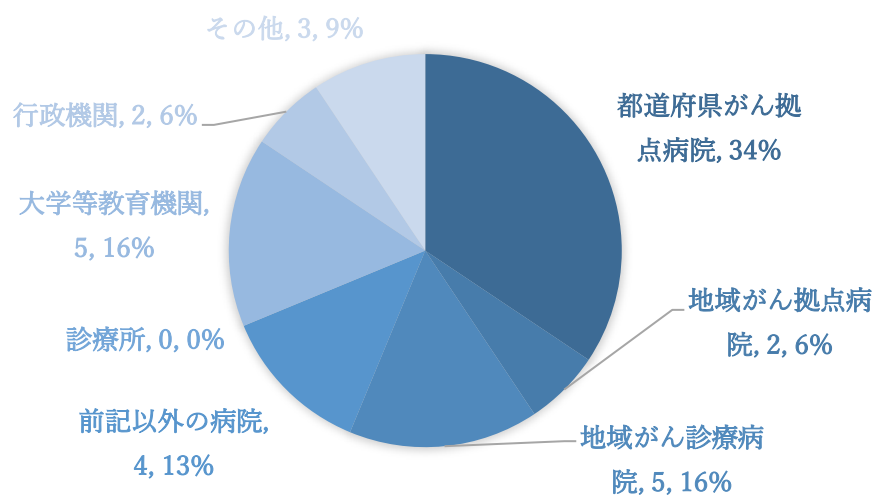
- ・42名の申込があり、当日参加は37名であった。締め切り期限（12/10）までは18名と少数であったため、期日後も参加者を募った。
- ・事前課題について、期限過ぎての提出があったため、3日前（12/14）までの提出分を集計した。
- ・参加するきっかけに、「知人からの紹介」が多くを占めた。
- ・参加医療従事者の所属組織は、がん拠点病院が多くを占めた。
- ・医療従事者だけでなく、次年度にアピアランスケア支援事業を施行する行政機関からの参加もあり、質問も多くみられ、今後の助成においてアピアランスケアに関する行政側の認識が深まった印象を受けた。
- ・院外のe-learning受講者は、県外で受講された方が多かった。
- ・グループワークの時間は60分では足りず、もっと長い時間設けるべきだと感じた。

【アンケート回答結果】(32名分)

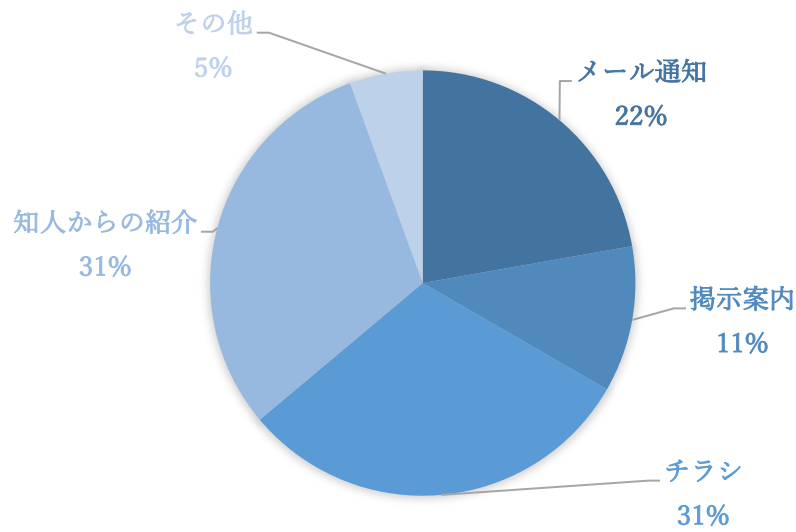
Q1.あなたのご職業を教えてください。



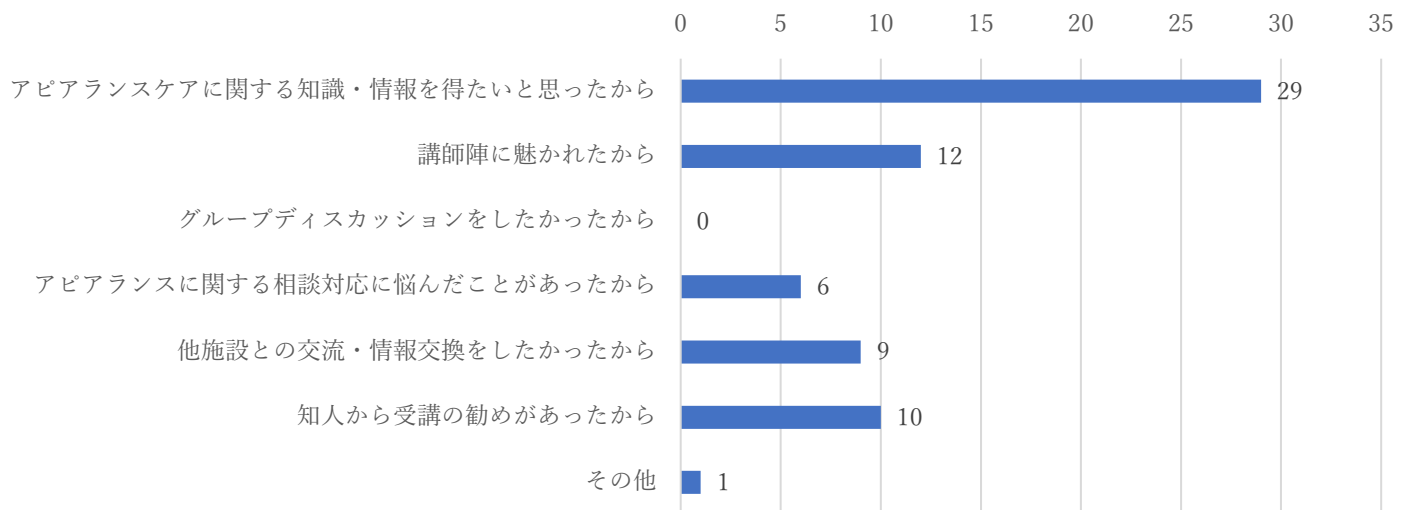
Q2.あなたの所属する施設を教えてください。



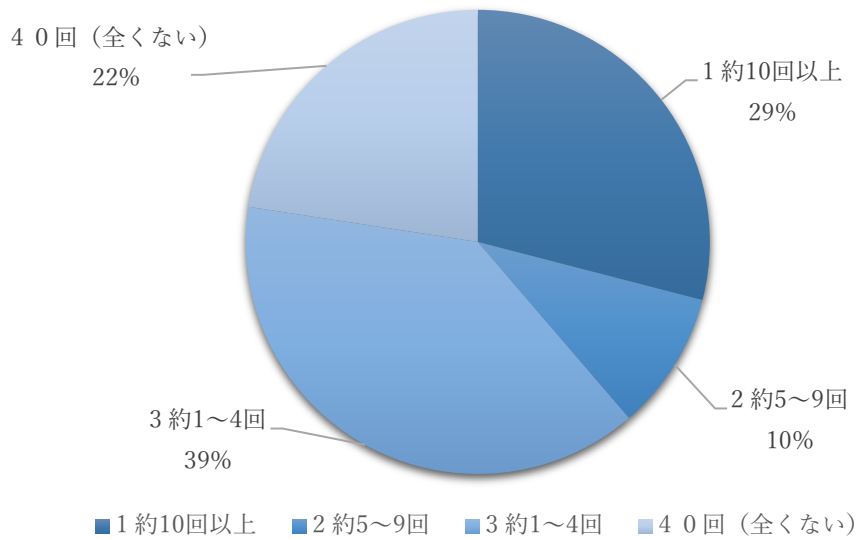
Q3. 今回の研修は、何で情報を知りましたか（複数回答可）



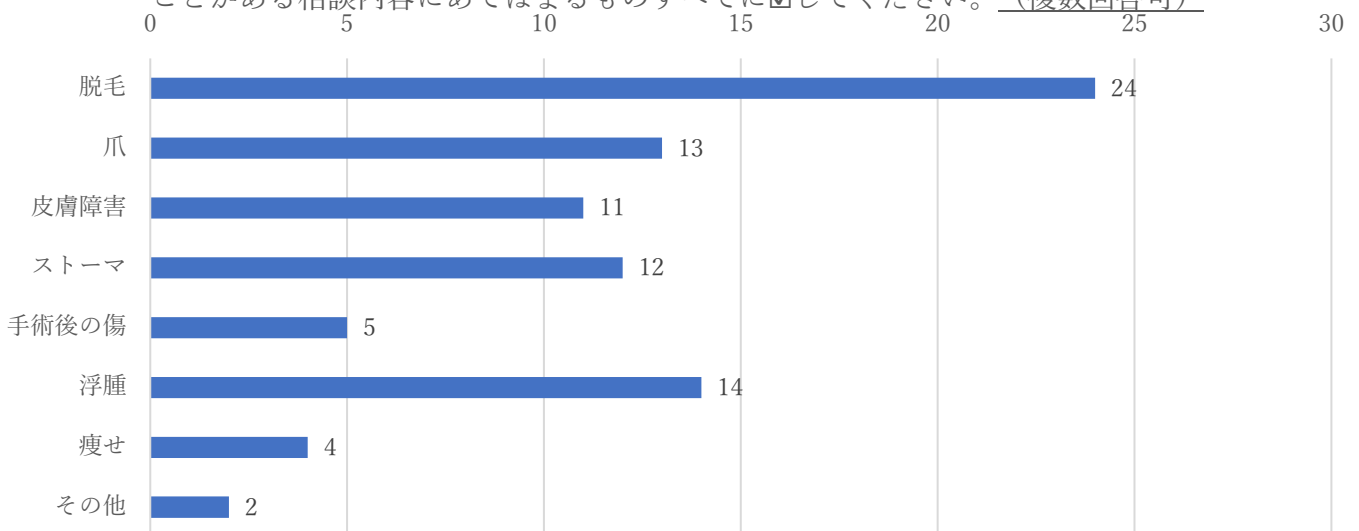
Q4. あなたが今回の研修に参加しようと思った動機を教えてください。（複数選択可）



Q5. (1) あなたはこれまでにアピアランスに関する相談を計何回ほど受けたことがありますか。



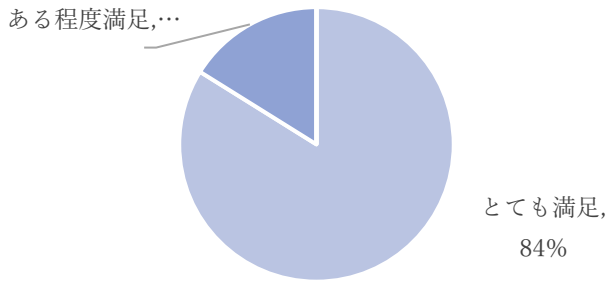
Q5. (2) アピアランスに関する相談を受けた方へお尋ねします。あなたが受けたことがある相談内容にあてはまるものすべてに☑してください。(複数回答可)



Q6. 各講演とグループディスカッションの内容に関する満足度と時間配分はいかがでしたか。

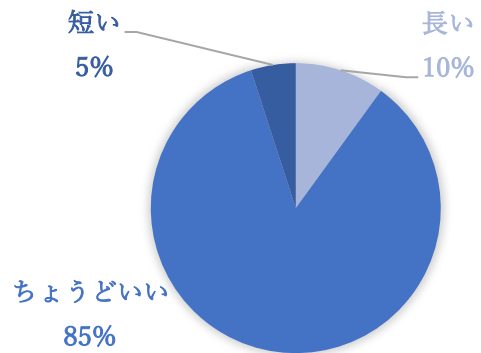
(1) 「臨床で活かせるアピアランスケア」

①満足度



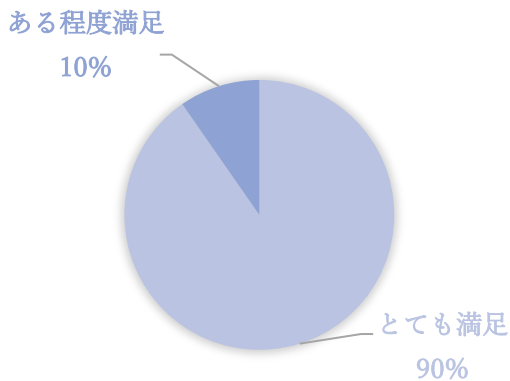
(1) 「臨床で活かせるアピアランスケア」

②時間



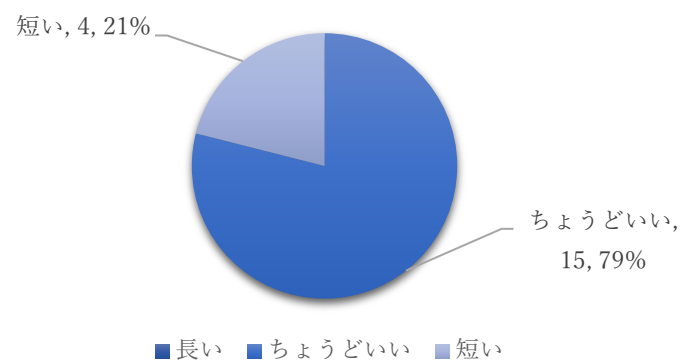
(2) 「患者が求めるアピアランスケア」

①満足度



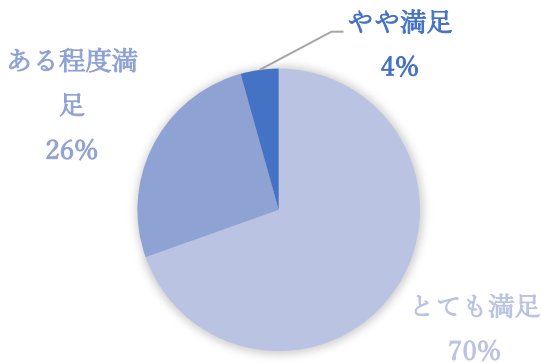
(2) 「患者が求めるアピアランスケア」

②時間



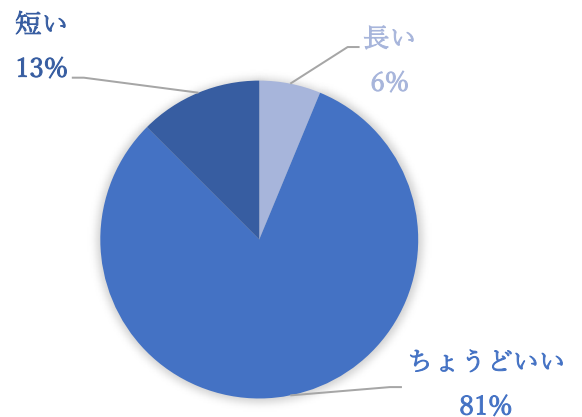
(3) グループディスカッション

①満足度



(3) グループディスカッション

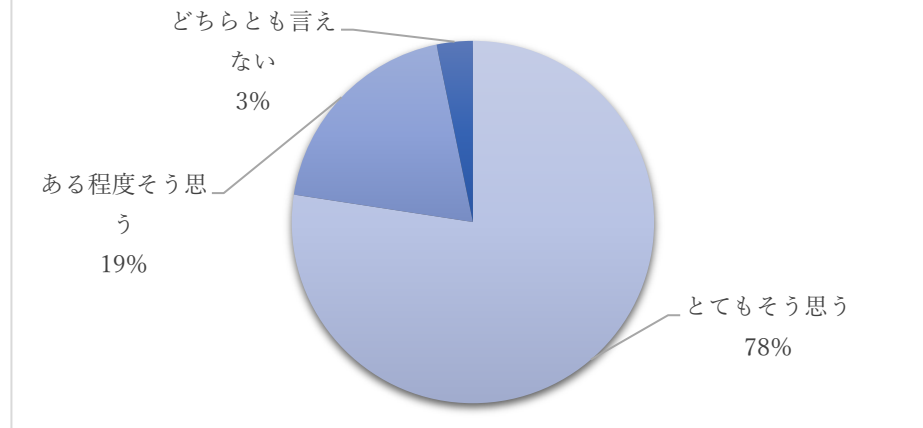
②時間



Q7. あなたの所属している自施設（自部署）ではどのようなアピランスに関する相談対応を行っていますか

1	脱毛への対応についてウィッグの購入方法（他患者の口コミ）を伝える、相談員に繋げる、経過（まだ毛がはえてくる時期等）を伝える								
2	情報コーナーにパンフレット冊子、患者会などのパンフレットを自由に持ち帰ることができます。また、ウィッグ・帽子は何度か展示して実際に手にとってもらっています。								
3	相談対応をしている（経験談を活かし、アドバイス）								
4	資材やパンフレット提供、試供品等で実際に触ってもらったり、試してもらったりしている。化学療法室やがん看護外来で対応。								
5	自治体でこれからウィッグ助成を始めます								
6	がん相談、ウィッグや下着、パンフレットの設置								
7	パンフレット、院内売店でウィッグ、帽子を販売								
8	パンフレットなどを置いている、相談員がいる								
9	脱毛する薬剤を使用する前に、脱毛後の生活をイメージし、面談（化学療法室NS）や（薬剤師）で！								
10	ウィッグ業者のパンフレット紹介								
11	患者向けチラシ、アメニティー、化学療法室でアドバイス								
12	ウィッグ購入費用の助成に関する相談								
13	アピランス相談会を定期的開催している。がん相談支援センターで相談対応しています。								
14	ウィッグを展示している、パンフレットや相談員もいます。								
15	まだ行っていないので、今後の取り組みたい								
16	大学院ではがん相談支援センターやピアサポート等が対応している。								
17	ウィッグの相談は病棟NSも対応していますが、詳しい相談はがん専門NSへ対応してもらっています。								

Q8. (1) 今後もアピランスケアに関する勉強会
があれば参加したいと思いますか



Q8. (2) 企画・開催を希望する研修のテーマや内容についてご意見がありましたら下記へご記入ください。

- 1 倫理調整について
- 2 病名告知について
- 3 サバイバーシップケア
- 4 爪などの変化に対するケアについて
- 5 実際の患者体験松本さんの話をきけたこと。
- 6 実際の困りごとへの対応・対策
- 7 とても勉強になりました。
- 8 各種職場の人達が参加する研修がよいと思います。
- 9 アピランスについてもっと多くのスタッフへ研修開催してほしい

Q9. その他、本日の勉強会に関するご感想やご意見などがありましたら自由にご記入ください。

1	これまでアピランスの対応について正解が分からないもどかしさがありましたが、今回の講演を聞きとてもとても学びになりました。部署でも今回の学びを共有して現場で活かしていきます。ありがとうございました。
2	がん患者から外見に対しての質問や思いについての発言が聞かれる場合がある為、情報のアップデートと一緒に考えることの必要性を学ぶことができました。
3	とても勉強になりました。悩みの本質を探れるようサポートしていきたいです。
4	コミュニケーションを大切にすることが、アピランスケアには重要だと気づかされました。視点を変えて、色々な面から考えていきたいと思いました。
5	今後、県内自治体がウィッグ助成を行うにあたり、重要なお話でしたし、助成額についても大事な考え方について知ることが必要だと思いました。
6	とても具体的で分かりやすく勉強になりました。明日から話せます。
7	勉強になりました。臨床に活かしていきます。
8	とても勉強になりました。
9	講演やグループワークを通して、本質は何か考えるきっかけになりました。今後、認知（心理的問題）、社会的問題、身体的問題をふかんして見れるよう意識して現場で行動してみたいと思います。松本さんが述べていた「患者として」ではなく「人として」対応することを心がけたいと思います。
10	ふみこんだ勉強会だったのでとても参考になりました。ありがとうございました！
11	ウィッグの種類をたくさん知り、患者さんへアドバイスする知識がふえ良かったです。ありがとうございました。患者を認知する！本質を知る、一歩下がって患者ではなく、相手の視点で考える。
12	ウィッグは高くても安くても見た目ではわからないことが実感できました。野澤先生のご講演を聞いて、アピランスの知識を得ることができ、日々知識や情報を更新しながら、窓口相談のシミュレーションをして実践することが大切だと感じました。松本さんのお話から、当事者の方々の視点に立って相談対応できるように日々、思いを察して寄り添い対応をすることを心がけて行いたいと思います。
13	先生お2人の講演は理解しやすくとても勉強になりました。ただグループワークの際に、実際にどう相談の場で展開するかとどまってしまうしていました。ワークのあとで、野澤先生や松本さんの補足説明があってようやく府に落ちました。「患者さんはアピランスに悩むとき誰のことを想像しているのか？」を意識しながら対応したいと思います。
14	アピランスケアについて患者と社会をつなぐこと、患者のボディーイメージに対する周囲の立場として意見を伝えることが大切、認知を変えることが大切。
15	とても勉強になりました。アピランスは外見ケアを思っていたのですが、心理的社会的な面がとても大切だと学ぶことができました。
16	他施設の方とディスカッションができてとても有意義な時間になりました。また、アピランスケアの根かん部分に気づくことができ、今後活かしていきたいと思いました。
17	非常に勉強になりました。特に相談者の目的をしっかり掴むようにしていきます。

アピアランス支援モデル事業 中間報告会

琉球大学病院

責任者：がんセンター 増田昌人

実地者：緩和ケアセンター 砂川 華

発表内容

I アピアランスに関する相談支援・情報提供体制整備の状況と課題

1. 相談支援体制の整備状況
- 2-1. アピアランスケア担当者と一般職員との相談・支援の違い
- 2-2. アピアランスケア担当者が相談支援を行う患者のアセスメント方法
3. 難易度の高い相談の種類と対処方法
4. アピアランス支援やケア展開に関する現状の課題

II 院内外の教育・研修に関して

III 患者向け資材に関して

1. モデル事業実施中に活用した患者資材
2. 患者向け資材に関する課題や要望

発表内容

I アピアランスに関する相談支援・情報提供体制整備の状況と課題

1. 相談支援体制の整備状況

2-1. アピアランスケア担当者と一般職員との相談・支援の違い

2-2. アピアランスケア担当者が相談支援を行う患者のアセスメント方法

3. 難易度の高い相談の種類と対処方法

4. アピアランス支援やケア展開に関する現状の課題

II 院内外の教育・研修に関して

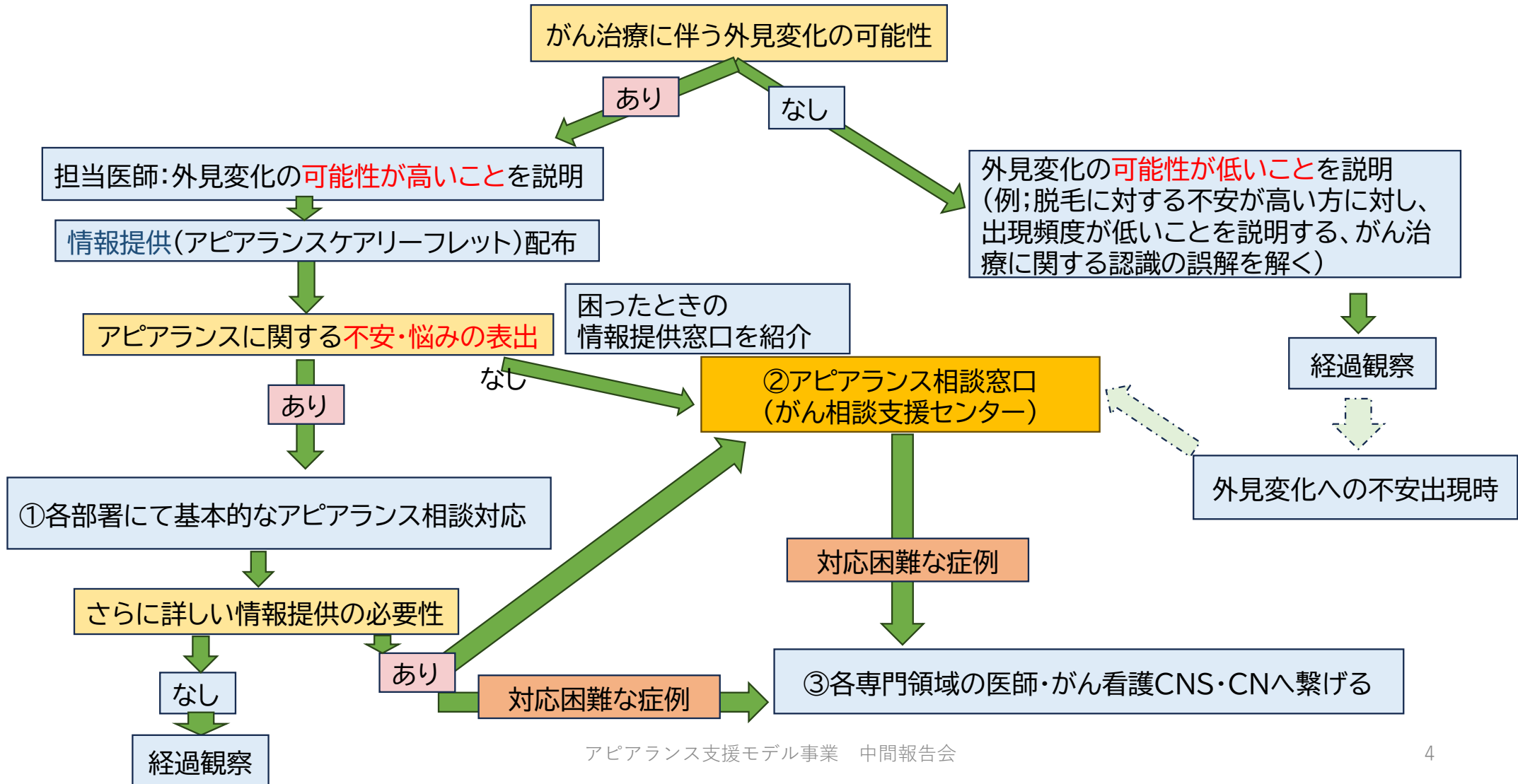
III 患者向け資材に関して

1. モデル事業実施中に活用した患者資材

2. 患者向け資材に関する課題や要望



1. 相談支援体制の整備状況



2-1. アピアランスケア担当者と一般職員との相談・支援の違い

担当者	相談内容	相談時期	支援内容
一般職員 現場スタッフ	脱毛	脱毛後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脱毛した患者さんから直接相談があったときに相談対応 ・ ウィッグ業者のパンフレットを渡す ・ 入院中の環境整備 ・ タオル帽子の提供
アピアランスケア担当者（以下の3名）			
緩和ケアセンター がん看護CNS	脱毛 皮膚障害	脱毛前 治療開始前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治療・脱毛に関し誤った認識をしていないかの確認 ・ 脱毛後の予測される日常生活・社会生活への不安を聞き出す ・ ウィッグの具体的な探し方、方法をリーフレットを用いて助言
血液内科 緩和ケアCN	脱毛 皮膚障害	治療中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に男性のアピアランス相談
がん相談支援センター MSW	脱毛	外来通院中 治療中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内各地のウィッグ取扱店舗の紹介 ・ ウィッグ購入場所、実際の試着を希望する方も多い ・ その他の社会資源、助成金制度の説明

2-2. アピアランス担当者が相談支援を行う患者のアセスメント方法

相談内容	担当者	相談時期	アセスメント方法
脱毛	一般職員 現場スタッフ	脱毛後	・ 脱毛した患者さんから直接相談があったときに相談対応
アピアランスケア担当者（以下の3名）			
脱毛 皮膚障害	アピアランスモデル事業実地者 (緩和ケアセンター がん看護CNS)	脱毛前 治療開始前 の不安	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治療・脱毛に関し誤った認識をしていないかの確認 ・ 脱毛後の予測される日常生活・社会生活への不安を聞き出す ・ ウィッグの具体的な探し方、方法をリーフレットを用いて助言 <p>【アセスメント;評価方法】 STAS-J がん患者指導管理(口):心理的ケア・面談として介入 ＜該当する項目＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ①痛み以外の症状が患者に及ぼす影響 ②不安が患者に及ぼす影響 ③患者・家族に対する医療スタッフのコミュニケーションの項目が2以上の場合
脱毛 皮膚障害	血液内科 緩和ケアCN	治療中	男性視点でのアピアランス相談の予測
脱毛	がん相談支援センター MSW	外来通院中 治療中	特になし

3. 難易度の高い相談の種類と対処方法

難易度の高い/よくある相談内容	対処方法
<p>症例1:60歳代、女性、離島からの入院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師から脱毛のリスクは低いと聞いていたのに抜けているから余計にショックを受けた。もともと人と会うのが好きだが、最近では連絡をとっていない、顔をみせてないことで周囲から心配の連絡が絶えない ・ 次に地元に戻るときは、すべて髪の毛が抜けていると思うと余計に不安 	<ul style="list-style-type: none"> ①初回対応:これまでの生活様式や他人との接触、好きなことを聞きとり。脱毛頻度のリスクは低い治療のデータではあったが、本人にとっては大変ショックであることを受け止めながらお話をきいた ②患者サロンへの案内 ⇒他患者仲間から手頃なウィッグの紹介をきいて少し安堵された様子がみられた
<p>症例2:30歳代、女性、骨肉腫、抗がん剤治療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事を続けたいので治療は短期間入院が希望 ・ 職場にはできるだけ病気のことを隠しておきたいので、急いでウィッグを準備しておきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ① 治療前から本人の仕事に対する思いを聞き取り ②職場の様子に合わせた対応を確認した <p>結果⇒本人が4種類ほどウィッグを購入した。 ウィッグをチェンジしながら治療と仕事を継続している</p>
<p>症例3:60歳代、男性、肺がん、免疫チェック阻害薬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 副作用で全身に湿疹・かゆみが出現した状態で外来受診してきた ・ 赤い顔で外に出る、人と会うことができない 	<p>緊急性が高い状態だと判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 呼吸器内科医師へ報告し治療に伴う副作用irAEの可能性と診断あり、主治医から皮膚科医師へコンサルト、ステロイド投与開始となった

4. アピアランス支援やケア展開に関する現状の課題

- ✓ アピアランスに関する悩みを抱えている患者に対するスクリーニング(気づける医療者)を増やす
- ✓ 院内のアピアランスケアへの取り組みについて、だれが、どこで、どのような場面で対応することができるかを明確化したフローチャートを完成させ、周知すること
- ✓ 難易度の高い相談の場合、各領域の専門家に早期につなげる、コンサルトできる体制づくり

発表内容

I アピアランスに関する相談支援・情報提供体制整備の状況と課題

II 院内外の教育・研修に関して

1. 実践状況
2. 教育研修の際に重点を置いたポイント
3. 教育・研修に関する受講者のニーズ
4. 受講者の変化
5. 教育・研修に関する課題
6. 教育研修以外にもスタッフのアピアランスケアに対するモチベーションアップに向けた取り組み

III 患者向け資材に関して

1. モデル事業実施中に活用した患者資材
2. 患者向け資材に関する課題や要望

1. 実践状況：①院内医療者対象

開催場所	琉球大学病院
開催日時	11月14日(火)17:30～18:30
場所	琉球大学病院
開催方法	オンライン+オンデマンド配信
対象	院内のがんに関わる全ての医療者
実際の参加者	18名 医師、薬剤師、看護師、MSW
形式	講演会方式 1. 講師:ピアサポーター「患者が求めるアピアランスケア」 2. 講師:院内アピアランスケア担当者(看護師)「新しいアピアランスケアの考え方」

1. 実践状況：②院外医療者対象

開催場所	琉球大学病院	沖縄県立八重山病院	沖縄県立宮古病院
開催日時	12月17日(日) 13:00~17:00	1月26日(金) 17:30~19:30	3月1日(金) 17:30~19:30
開催方法	対面	対面	対面
対象	県内のがんに関わる全ての医療者	がんに関わる全ての医療者(+行政関係者)	がんに関わる全ての医療者(+行政関係者)
実際の参加者	42名 医師、薬剤師、看護師、MSW、保健師(行政担当者、大学教員、ピアサポーター、患者会) 拠点病院等、一般病院、豊見城市、沖縄市、患者会		
形式	講演とグループディスカッション 1. 講師:アピアランスケア研究者(看護師)「臨床で活かすアピアランスケア」 2. 講師:ピアサポーター「患者が求めるアピアランスケアとは？」 3. グループディスカッション	講演とグループディスカッション	講演とグループディスカッション

1. 実践状況：③患者対象

開催場所	琉球大学病院			八重山病院	宮古病院	
形式	アピアランスケア 相談会	WEB患者サロン	患者サロン	男性向けWEB 患者サロン	患者サロン	患者サロン
開催日時	6月、10月、12月 15:00～16:30	11月21日 14:30～15:30	12月7日 14～16時	2024年2月	2024年1月 17日(土)午前	2024年3月2 日(土)午前
開催方法	対面	WEB	対面	WEB	対面	対面
対象	全ての患者	全ての患者	全ての患者	男性患者	全ての患者	全ての患者
参加者	2名 (女性2)	3名(男性2、女 性1)	7名(男性2、 女性5)			
内容	ウィッグ試着会・ 相談会	アピアランスケア についての講演 +相談	アピアランスケ アについての 講演+相談+ ハンドクリーム の塗り方	男性向けのア ピアランス相 談会	アピアランスケ アについての 講演+相談	アピアランスケ アについての 講演+相談

2024/1/5

アピアランス支援モデル事業 中間報告会

12



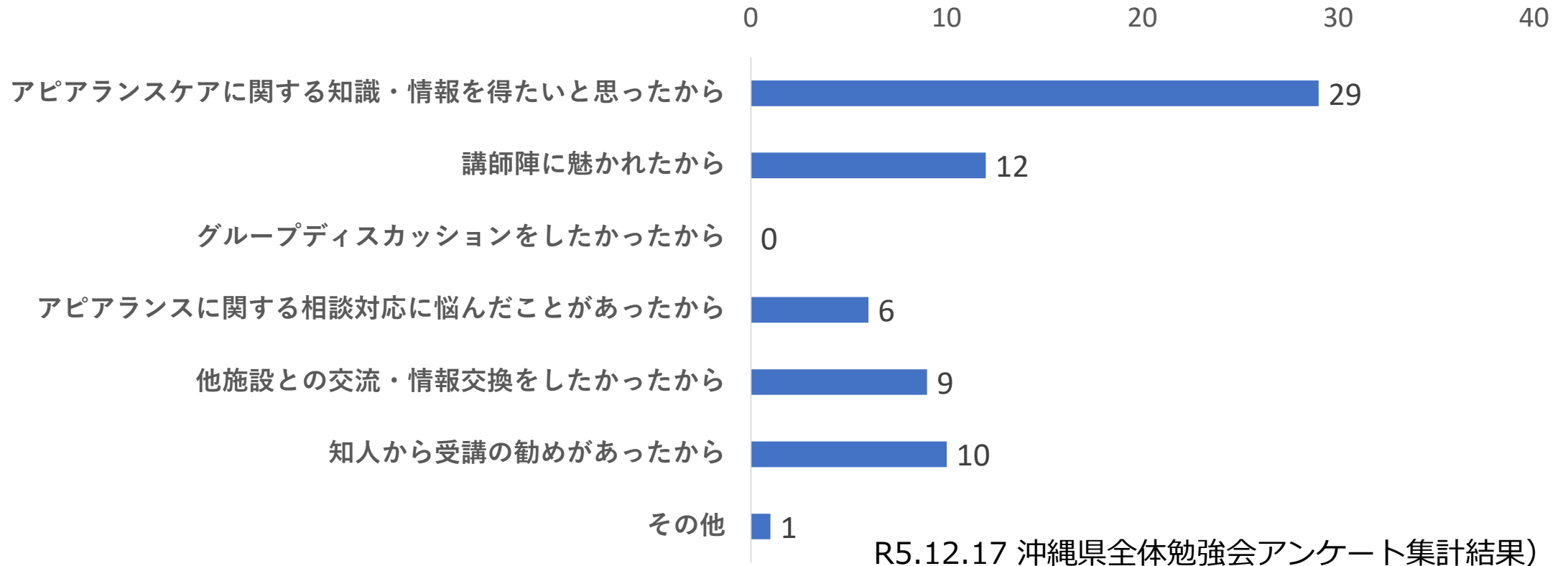
2. 教育研修の際に重点を置いたポイント

- ✓ アピアランスケアとは、審美性を着目したケアではなく、がんになってもその人らしく社会で生活できるような支援であることを重点に伝える
- ✓ 医師・看護師・薬剤師・相談員といったアピアランスケアに関わる多職種間での情報交換・連携を図る
- ✓ 離島も含めて県内全域のレベルアップを図る
- ✓ オンラインの研修だけではなく、対面での研修を開催する
- ✓ 都道府県がん診療連携拠点病院と他の地域がん診療連携拠点病院や各施設、行政と情報交換できる場をもつ

3. 教育・研修に関する受講者のニーズ(1/3)

アピアランス県全体勉強会に参加しようと思った動機

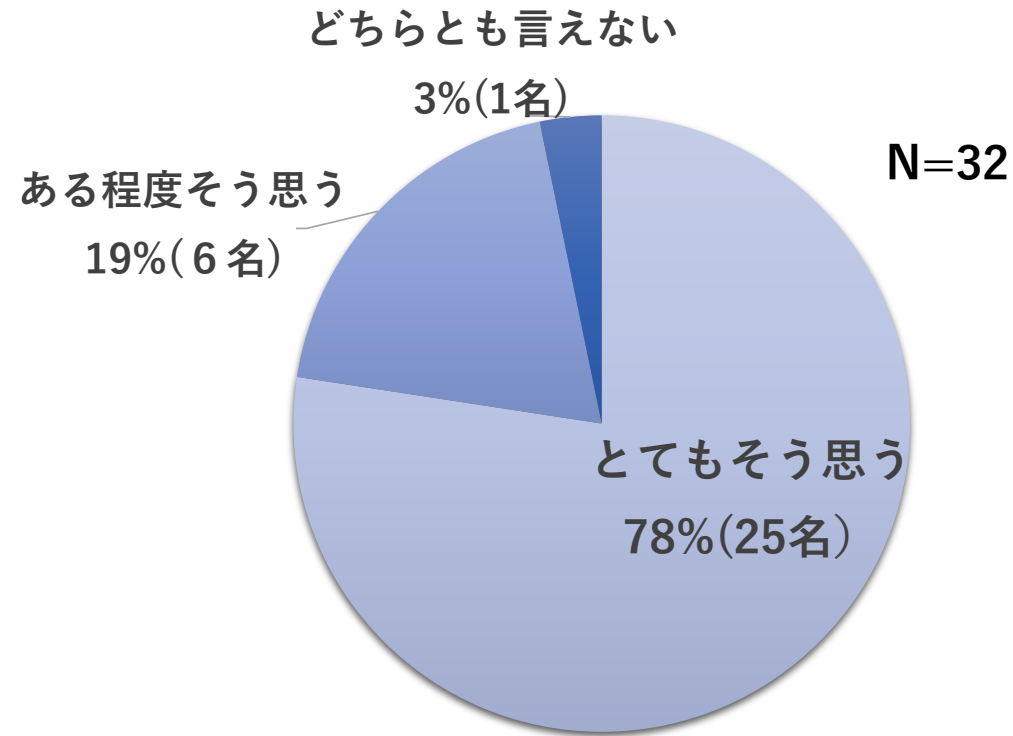
複数選択 N=67件 (32名)



R5.12.17 沖縄県全体勉強会アンケート集計結果)

3. 教育・研修に関する受講者のニーズ(2/3)

今後もアピアランスケアに関する勉強会の参加希望はありますか？



R5.12.17 沖縄県全体勉強会アンケート集計結果より)

3. 教育・研修に関する受講者のニーズ(3/3)

企画・開催を希望する研修のテーマや内容について意見

- サバイバーシップケア
- 爪などの変化に対するケアについて
- 実際の患者体験の話をきけたこと。
- 実際の困りごとへの対応・対策
- 各種職場の人達が参加する研修がよいと思います。
- アピアランスについてもっと多くのスタッフへ研修開催をしてほしい

沖縄県全体勉強会アンケート集計結果(2023年12月17日)



4. 受講者の変化

- ✓『アピアランス』という言葉の認識は少しずつ広まっている
- ✓興味・関心のある医療従事者から、口コミで研修の評価やアピアランスケアに関心を持つスタッフを増やす
- ✓受講者の変化は、院内・院外ともに実感できていない。
*モデル事業施設における受講者の変化の評価方法を知りたい



5. 教育・研修に関する課題

課題項目	院内	院外
人的	アピアランスケアに興味・関心があるスタッフ教育の定期的な開催	都道府県がん拠点病院以外の地方の各病院と施設の現状の把握
	Eラーニング受講者のフォローアップ実践に活かせることを周知する	各施設のアピアランス担当となる人材とのネットワークづくり
時間的	・研修時間の確保	・移動時間
金銭的	・院外講師の招聘 ・場所の確保⇒オンラインも活用しながら、実践内容(対面式)も併行する ・資材等の準備	・交通費等の負担



6. 教育研修以外にもスタッフのアピアランスケアに対するモチベーションアップに向けた取り組み

- ✓ 興味・関心のあるスタッフへの声かけ
- ✓ 手作りタオル帽子を作成しているボランティアへの声かけ
- ✓ 役に立っているという患者の生(なま)の声を伝える
- ✓ 相談を受けた患者の変化、よかったことを相談者へ伝える
- ✓ アピアランスケア実施後の成功体験を医療従事者間、医療者患者間でも語りあうこと

発表内容

I アピアランスに関する相談支援・情報提供体制整備の状況と課題

1. 相談支援体制の整備状況
2. 担当者と一般職員との相談・支援の違い
またアピアランスケアの担当者が相談支援を行う患者のアセスメント方法
3. 難易度の高い相談の種類と対処方法
4. アピアランス支援やケア展開に関する現状の課題

II 院内外の教育・研修に関して

III 患者向け資材に関して

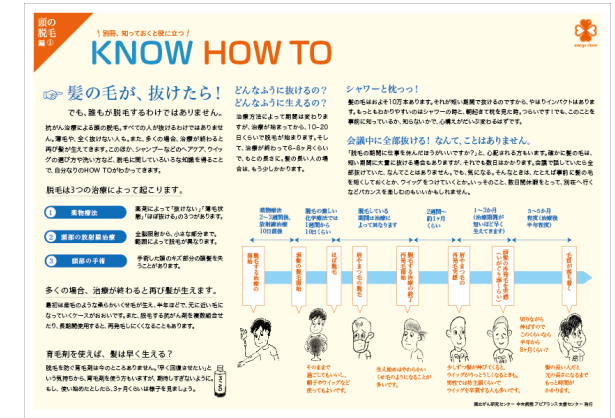
1. モデル事業実施中に活用した患者資材
2. 患者向け資材に関する課題や要望



1. モデル事業実施中に活用した患者資材

1. 脱毛前の活用資材

- リーフレット①髪が抜けますと言われたら (横浜市×アピアランス支援センター作成リーフレット)
- 別冊KNOW HOW TO(国立がん研究センター中央病院作成)
- 生活の工夫カード(国立がん研究センター中央病院作成)



2. 脱毛後の活用資材

- ウィッグ(見本・試着用 成人女性用2点と小児用1点)
- 各販売店が発行する商品パンフレット
- タオル帽子、ケア帽子(見本)
- 定期的な相談会を開催し試着体験
⇒ウィッグ業者には試着のみで、その場での販売はしない
もし購入希望の場合は、病院外の店舗にて直接購入





2. 患者向け資材に関する課題や要望

1. リーフレットの配布場所、資材の管理方法

- 現在は相談窓口や相談対応した患者に対し、リーフレットを見せながら説明している
⇒各部署にリーフレットを設置する
診療科医師から場面に応じて情報提供をする。
- ウィッグ等の破損・紛失時の対応、補償について
- 相談窓口以外の資材管理の方法(現在は部署の責任者に任せているが一括管理したほうが良いのか?)

2. リーフレットの説明方法のポイントを周知する

- 実際の説明ポイントを習得できるような教育・研修会を開催する

今後に向けて、必要なこと

1. アピアランスケアe-ラーニング受講者が、学んだ知識を実践に活かしていけるようなフォローアップ体制を作ることが必要である
2. 院内のアピアランスケアへの取り組みについて、だれが、どこで、どのような場面で対応することができるかを明確化したフローチャートを完成させ、周知することが必要である
3. 離島・へき地を含めて沖縄県全体のアピアランスケアの均てん化に向けた研修会や情報交換会を定期的に行うことが必要である
4. 患者さんへの啓発活動を通じて、医療者に対して、自由に意見を言えるような働きかけが必要である
5. 今年度のアピアランスケアモデル事業後、来年度以降も継続して支援できるように取り組むことが必要である

令和5年度 アピアランスケア八重山病院勉強会（医療従事者対象）プログラム構成

開始時間	終了時間	所要時間	項目	担当者
17:00			開会	
17:00	17:05	5分	開会のあいさつ	八重山病院 院長
17:05	17:10	5分	趣旨説明	がんセンター長
17:05	17:35	30分	1. がん治療に伴う外見変化への悩みに寄り添うケア（アピアランスケア）の基礎知識	琉球大学病院 がん看護専門看護師 砂川 華
17:35	17:40	5分	休憩	
17:40	18:10	30分	2. 明日からできる！アピアランスケアの実践	琉球大学病院 がん看護専門看護師 砂川 華
18:10	18:20	10分	質疑応答・全体振り返り	
18:20	18:25	5分	アンケート記入	参加者各自
18:30	18:30	0分	閉会のあいさつ	がんセンター長
18:30			閉会	

令和5年度 アピアランスケア八重山相談会（患者対象）プログラム構成

開始時間	終了時間	所要時間	項目	担当者
9:20	9:50	20分	事前打ち合わせ	講師・スタッフ
9:50	10:00	10分	休憩・準備	各自
10:00			開会	
10:00	10:05	5分	開会のあいさつ	八重山病院 院長
10:05	10:35	30分	治療中でも自分らしく過ごすための外見ケア	琉球大学病院 がん看護専門看護師 砂川 華
10:35	10:45	10分	休憩	
10:45	11:45	60分	個別相談会・ウィッグ試着等	琉球大学病院 がん看護専門看護師 砂川 華
11:45	11:55	10分	アンケート記入	参加者各自
11:55	12:00	5分	閉会のあいさつ	がんセンター長
12:00～			閉会	